

新型流感信息

1 发布新型流感“终结宣言”

～自流行一年以来

自从去年 8 月 21 日，政府宣布新型流感已“进入流行”阶段以来，一直到今年 8 月 10 日，经过大约一年期间，世界卫生组织（WHO）正式发布了“新型流感(甲型 H1N1)大流行（世界性大面积流行）已经结束”的讯息。据说宣布这一讯息，是因为现在正值冬季、虽然位于南半球的澳洲刚好进入流感的流行阶段，但其流行规模相当与一般的季节性流感程度。

而日本国内今年夏天，“一所医疗机构的患者人数超过一人”被制定为衡量流行期间的标准，但由于事实上没有超过这一基准，因此没有发生什么引人注目的事情。但是，专家的意见是，千万不可掉以轻心，因为以往曾经有过二次流行并导致流行区域扩大的例子。日本去年感染率很低的高龄者及孕妇，仍然有着较



新型インフルエンザ情報

1 新型インフルエンザ「終息宣言」
～流行から 1 年
昨年 8 月 21 日に政府が新型インフルエンザの「流行入り」を宣言してから 1 年ほどの今年 8 月 10 日、世界保健機関（WHO）が「パンデミック（世界的大流行）」の終息を宣言しました。冬を迎えた南半球の豪州がインフルエンザの流行期に入り、流行規模が一段の季節性インフルエンザ程度というのが主な理由だそうです。

日本国内では今年の夏は、流行期の目安になる「1 医療機関あたりの患者数が 1 人を超える」ことはなく、目立った動きは見られませんでした。但し、専門家の意見によると油断は禁物で、過去の例では再流行の第 2 波での拡大がある場合もあり、日本で昨年感染が広がらなかつた高齢者や妊婦の方などは、やはりリスクが高いので引き続き注意を促す意見も聞か

高的感染危险性，因此有人说需要继续加以留心。

此外，作为一项今年的流感对策，厚生劳动省已经确保了可以应对全国民人数的疫苗库存量，并且从 10 月 1 日就可以接种。

2 “新型”的名称及各国的对策

据厚生劳动省的信息，只有日本是将此次流感称为“新型”流感的国家，这是日本感染病法所规定的名称，如果厚生劳动大臣作出了大部分国民都已获得免疫力这一判断时，“新型”两个字就将被去掉。此外，即使不启用“新型”两个字，各国之间的应对办法也不存在太大的差异，只是，在打预防针的时候，如果是

“新型”流感的话，就将作为国家的一项职责而重新制定接种费用，也会制定面向低收入者的辅助制度。而不是“新型”流感的时候，其性质就与一般的季节性流感相同，属于任意接种范畴，其接种费用也由各医疗机构各自设定，同时也不存在面向低收入人群的辅助措施。

3 喷一下就行的“鼻喷式疫苗”

往鼻子里喷一下就行的流感疫苗，被称为“鼻喷式疫苗”。接种这种“鼻喷式疫苗”时，由于不需要注射器，因此在控制新型流感等疾病的大流行上，有着方便快捷的好处。此外，以往通过注射器打进体内的疫苗，主要是为了抑制因感染而进入体内的病毒活动，从而防止病情恶化；而“鼻喷式疫苗”则是活化病毒所藏匿的鼻粘膜及喉咙粘膜，从而提高其免疫力，以起到预防效果。

厚生劳动省的研究班，已从今年 10 月开始对“鼻喷式疫苗”的效果进行临床研究。据说在美国，“鼻喷式疫苗”已经上市并成品化。而日本，迄今为止通过对猴子所实施的实验表明，疫苗有着一年以上的预防效果。所以，此次是第一回对人体进行正式的实验与研究。此项研究有望在明年底实现实用化。(T)

れます。

また、今年のインフルエンザ対策で、厚生労働省は国民全体に対応できる分量のワクチン在庫を確保し、10月1日から接種できるようになりました。

2 「新型」の名称と国の対応

厚生労働省によると今回の新型インフルエンザのことを「新型」と呼んでいるのは日本ぐらいだそうです。これは日本の感染症法で規定された名称で、厚生労働大臣より国民の大部分が免疫を獲得したと判断が下されると、「新型」ではなくなります。また、「新型」でなくとも国の対策が大きく変わることはないのですが、ワクチン接種については「新型」の場合、国の事業で接種費用が決められる上、低所得者への助成制度もあります。これが、「新型」でなくなると通常の季節性と同じく任意接種となり、接種費用は医療機関が独自に設定し、低所得者への助成もなくなります。

3 鼻に吹きつけるだけでよい「経鼻ワクチン」

鼻に吹きつけるだけでよいインフルエンザワクチンのことを「経鼻ワクチン」と言います。この「経鼻ワクチン」の場合、注射器がないため、新型インフルエンザなどの大流行に備えて多くの人に素早く使える利点があります。また、従来の注射型ワクチンは、体内で感染したウィルスの活動を抑えて重症化を予防するものでしたが、「経鼻ワクチン」ではウィルスがとりつく鼻やのどの粘膜の免疫を活性化して感染を防ぐ効果があるとされています。

厚生労働省の研究班では、今年 10 月からこの「経鼻ワクチン」の効果を調べる臨床研究を始めました。米国では市販されている製品もあるそうですが、日本ではこれまで動物実験でサルの実験に対してワクチンの効果が 1 年以上持続する成果が得られました。そして、この度初めて人での本格的な研究が始まりました。来年以降の実用化を目指しています。(T)